

南海トラフ巨大地震を想定 代替輸送訓練開催

東日本大震災では、日本海側港湾が太平洋側港湾の代替機能を果たしました。

北陸地域国際物流戦略チーム(北陸地方整備局、北陸信越運輸局)は、今後発生が危惧されている、南海トラフ巨大地震を想定した日本海側港湾への代替輸送訓練(図上訓練)を下記のとおり、名古屋市内で開催します。

今回の訓練は、災害発生後にとるべき行動の判断・実行を机上にて模擬体験することにより、代替輸送に対する参加企業の経験値や意識の向上等を目的としております。

記

■南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練(図上訓練)

日時: 平成29年10月23日(月) 13:30~17:00

場所: 名古屋商工会議所 5F 会議室ABC
(愛知県名古屋市中区栄2丁目10-19)

主催: 北陸地方整備局、北陸信越運輸局
D-PACプロジェクト(特定非営利活動法人危機管理対策機構)

共催: 内閣府、一般財団法人DRI ジャパン、
一般財団法人危機管理教育&演習センター、
特定非営利活動法人事業継続推進機構

後援: 名古屋商工会議所、岐阜商工会議所

※取材について

- ・取材は事前申し込みが必要です。取材要領(別紙-3)を参照下さい。
- ・取材希望者は取材申込書(別紙-4)に記載の上、10月20日(金)正午までに申し込み下さい。

【添付資料】

- ・会場案内(別紙1)
- ・開催案内(別紙2)
- ・取材要領、申し込み(別紙3、別紙4)

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ	富山県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ	石川県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ	福井県政記者クラブ
長野市政記者クラブ	名古屋港記者クラブ
長野県庁会見場 専門紙	岐阜県政記者クラブ

【問い合わせ先】



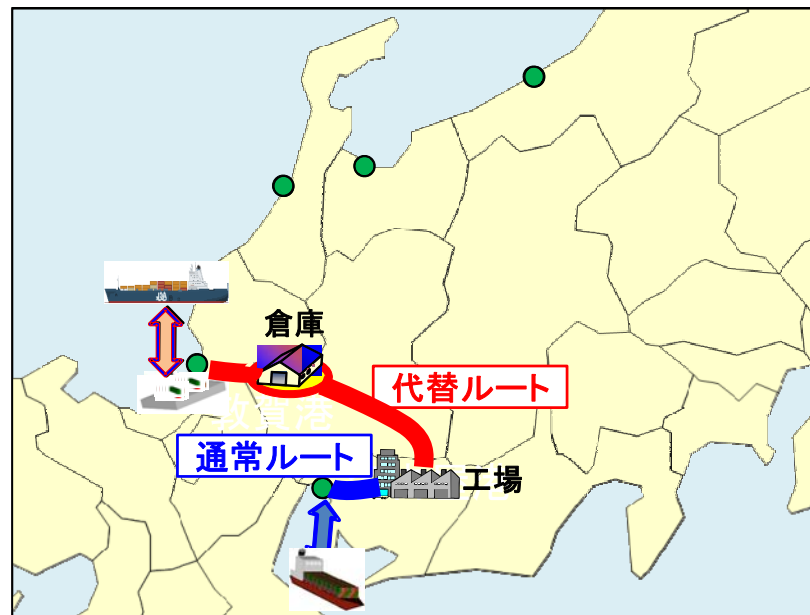
国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室長 関口
課長補佐 山本
TEL 025-370-6706
FAX 025-280-8783

【用語の説明】

○北陸地域国際物流戦略チーム

北陸地域の物流に係る課題・施策について、幅広い意見・情報交換を行うとともに、問題意識を共有し具体的な施策を検討するため、経済団体、物流団体、港湾関連会社、航空関連会社、学識経験者、諸官公庁等から構成されている組織で、平成18年8月に設置。

【参 考】



代替輸送のイメージ図



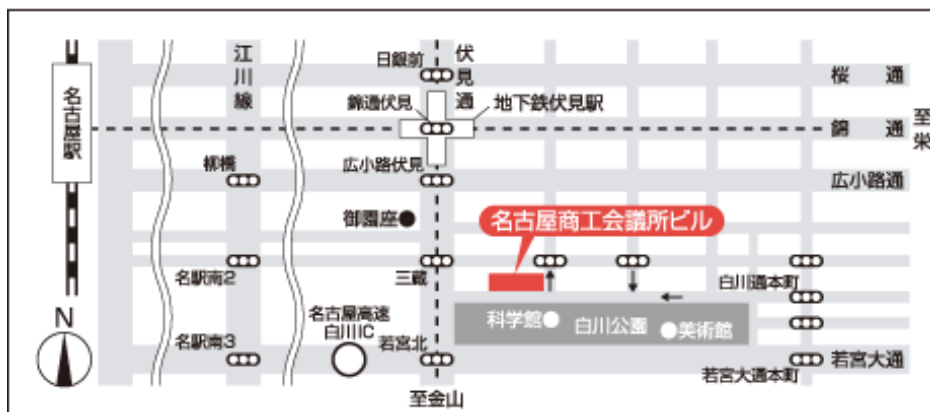
昨年度の代替輸送訓練の開催状況

会場案内

施設名：名古屋商工会議所 5階 会議室A・B・C

所在地：〒460-8422 名古屋市中区栄 2-10-19

TEL：052-223-5612



交通；地下鉄伏見駅（東山線・鶴舞線）下車

（名古屋駅より東山線で1区間）5番出口より南へ徒歩5分

南海トラフ巨大地震に対応した 代替輸送訓練《図上訓練》の開催案内

＜訓練の背景と目的＞

東日本大震災では、日本海側地域の港湾が東北地域の代替機能を果たしました。

今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震などにおいて事業継続を確実なものとするためには、自らの復旧のみならず、同時被災確率の少ない日本海側に代替生産拠点及び供給先への代替輸送ルートを確認し、サプライチェーンを維持する代替戦略が必要です。

北陸地域国際物流戦略チーム（北陸地方整備局・北陸信越運輸局）は、代替輸送を確実なものとするため、代替輸送訓練を平成 25 年度より継続して実施しています。

訓練では、供給先への代替輸送ルートの確保等について、物流が途切れた場合にどのような問題が生じるかなど、災害発生時を模擬体験することにより経験値の向上を促進します。

＜訓練で養う 3 つの力＞ ～サプライチェーンを維持し、国際競争力を維持するために～

- (1) 被害想定に縛られない発想力（柔軟な考えを養う）
- (2) 被災時の利益を考えた企業の戦略力（発想の転換を養う）
- (3) 情報を待たない判断力（現場の判断力を養う）

＜タイムスケジュール＞

ファシリテーター：細坪 信二／特定非営利活動法人危機管理対策機構 理事・事務局長

13:30～14:00 情報提供・オリエンテーション 1

14:00～14:20 第一部：ワークショップ

「代替輸送、物流ルートを変更する際の理想的な方法、連携体制」

14:20～14:40 オリエンテーション 2

14:40～16:30 第二部：模擬災害体験演習（途中休憩含む）

16:30～17:00 反省会、講評 アンケート実施

■日 時：平成 29 年 10 月 23 日(月) 13:30～17:00（13:00 受付開始）

■場 所：愛知県名古屋市中区栄 2 丁目 10-19
名古屋商工会議所 5 F 会議室 ABC

■対 象：荷主、商社、港運事業者、陸運事業者、行政、研究機関など

＜以下の様な企業の方は是非ともご参加下さい＞

- ・災害時の代替戦略をまだ検討していない企業
- ・自社で策定した B C P を検証したい企業
- ・これから海外輸出・輸入を検討している企業
- ・直接輸出入に関わっていないが代替輸送に興味がある企業

■定 員：100 名(事前申し込みが必要。定員 100 名になり次第締め切りさせていただきます。)

■申し込み方法：FAX 又は E メール（〆切：10 月 13 日（金））

■参加費：無料

■主 催：北陸地方整備局、北陸信越運輸局
D-PAC プロジェクト(特定非営利活動法人危機管理対策機構)

■共 催：内閣府、一般財団法人危機管理教育&演習センター、一般財団法人 DRI ジャパン、
特定非営利活動法人事業継続推進機構

■後 援：名古屋商工会議所、岐阜商工会議所

企業活動にとって有用な訓練として頂くため
協力企業にもお声がけを頂きまして、ふるってご参加ください。

ご参加を希望される方は、ご記入の上 FAX または E メールでお申し込みください。

Fax : 03-3519-6255 **E-mail : hirago@cmpo.org**

10 月 23 日(月) 南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練 参加申込書

御社名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
E メール			
参加者名	部署・役職名	ご氏名	
	部署・役職名	ご氏名	
	部署・役職名	ご氏名	
	部署・役職名	ご氏名	
	部署・役職名	ご氏名	

(問い合わせ: 危機管理対策機構事務局 細坪(ほそつぼ)・平吾(ひらご) TEL:03-3519-6270)

取材要領

1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室までFAXにて事前申込みをお願いします。

(1) 申込期日は厳守でお願いします。(10月20日(金)正午必着)

- ・ 申込先(FAX番号) : 025-280-8783
 - ・ 担当 : 国土交通省 北陸地方整備局 クルーズ振興・港湾物流企画室 関口、山本
- ※ 申込期日に間に合わない場合は、取材が出来ない場合があります。

(2) 別紙取材申込書に以下の事項を記載して下さい。

- ・ 所属クラブ名
- ・ 会社名及び部署名
- ・ 取材者の役職・氏名(取材者全員の役職・氏名を記載願います。)
- ・ 取材希望
- ・ 連絡先(代表者1名で可)

2. 取材時の留意事項について

(1) 受付場所

- ・ 受付場所: 名古屋商工会議所5F 会議室ABC内
- ・ 受付時間: 13:00~

(2) 注意事項

- ・ 取材中は身分証明書、自社腕章を必ず着用し、係員の指示に従って下さい。

取材申込書

別紙 4

取材を希望する場合は、この様式により、下記連絡先までFAXでお申し込み下さい。

FAX 025-280-8783

申込み締切は、10月20日(金)正午です。

所属クラブ(所属するクラブに○をつけて下さい)

- ・新潟県政記者クラブ ・新潟政記者クラブ ・新潟市政記者クラブ
- ・長野市政記者クラブ ・長野県庁会見場 ・富山県政記者クラブ
- ・石川県政記者クラブ ・福井県政記者クラブ ・名古屋港記者クラブ
- ・岐阜県政記者クラブ ・専門紙

会社名及び部署名

取材者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記載願います。)

- ①(代表者) _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____

連絡先(代表者の連絡先)

上記のとおり、取材を申し込みます。

北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 あて